

平成18年度空港別収支 試算結果

1. 空港別収支の公表について	1
2. 空港別収支の作成方法	4
3. 試算結果	10
(1) 試算結果についての留意点	11
(2) 空港別収支の試算結果	15
イ. 国管理26空港一覧	別表1
パターン (一般会計財源非配分型)に基づく試算結果	
パターン (一般会計財源(航空機燃料税)配分型)に基づく試算結果	
パターン (一般会計財源配分型)に基づく試算結果	
パターン (一般会計財源非配分かつ空港整備関係歳出・費用除外型)に基づく 試算結果	
ロ. 国管理26空港個表	別表2
(3) 空港別収支試算結果における表示科目説明	16

空港別収支の試算 パターン (一般会計財源非配分型) 2/2

【キャッシュフローベースの空港別収支】

科目													
	高知	北九州	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	八尾	丘珠	小松	美保	徳島	三沢
歳入項目													
着陸料等収入	534	663	1,246	1,498	923	1,306	2,284	21	39	1,311	204	397	141
土地建物等貸付料収入	100	88	96	92	41	166	123	84	21	115	27	94	14
借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託工事納付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体工事費負担金収入	61	184	19	54	13	77	102	110	16	602	203	1,473	0
歳出項目													
空港整備事業費	410	557	151	1,069	254	448	440	323	96	2,113	1,014	6,003	0
環境対策費	61	0	0	0	1	97	1	0	0	0	0	0	0
受託工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空港等維持運営費等	641	911	693	713	574	828	1,319	233	270	324	235	205	270
土地建物借料	0	1	21	0	0	0	6	5	0	0	6	0	0
国有資産所在市町村交付金	144	12	156	57	172	138	138	118	16	26	21	46	8
国債整理基金特別会計へ繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳入項目の合計	695	935	1,361	1,644	977	1,550	2,509	215	76	2,028	434	1,964	155
歳出項目の合計	1,255	1,482	1,021	1,838	1,001	1,511	1,904	678	382	2,463	1,276	6,254	278
歳入・歳出差額	-561	-547	340	-195	-24	39	606	-463	-305	-435	-842	-4,290	-124

【企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)】

科目													
	高知	北九州	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	八尾	丘珠	小松	美保	徳島	三沢
【損益計算書】													
営業収益	634	751	1,342	1,590	964	1,472	2,407	105	61	1,427	231	491	155
着陸料等収入	534	663	1,246	1,498	923	1,306	2,284	21	39	1,311	204	397	141
貸付料収入等	100	88	96	92	41	166	123	84	21	115	27	94	14
営業費用	1,391	2,279	1,558	1,401	1,465	2,016	2,200	636	594	2,537	885	983	329
空港整備費	52	189	54	136	79	180	89	129	46	2,029	559	651	0
減価償却費	599	1,357	647	560	699	893	777	158	264	165	69	83	56
環境対策費	8	0	0	0	1	64	2	0	0	0	0	0	0
人件費	139	162	119	140	102	127	399	49	52	39	48	32	55
庁費等	381	496	486	417	351	526	660	114	198	225	160	155	199
土地建物借料	0	1	21	0	0	0	6	5	0	0	6	0	0
滑走路等修繕費等	65	53	66	82	46	83	112	63	18	46	17	16	7
国有資産所在市町村交付金	144	12	156	57	172	138	138	118	16	26	21	46	8
その他経費	2	9	8	9	15	5	16	0	1	7	5	1	5
営業損益	-757	-1,527	-216	189	-501	-544	207	-531	-534	-1,110	-654	-493	-175
営業外収益	61	202	20	54	12	78	102	110	16	579	202	1,397	0
地方公共団体工事費負担金収入	61	202	20	54	12	78	102	110	16	579	202	1,397	0
受託工事納付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常損益	-696	-1,326	-196	243	-489	-466	309	-420	-518	-532	-452	904	-175

【貸借対照表】													
資産	高知	北九州	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	八尾	丘珠	小松	美保	徳島	三沢
有形固定資産	24,637	85,646	19,839	6,342	19,874	17,534	14,668	6,239	3,083	1,793	2,706	27,376	1,185
土地	20,202	73,770	13,070	2,216	12,464	7,657	9,715	5,246	1,759	555	1,676	8,321	810
建物	310	1,017	746	959	526	401	879	89	176	160	91	84	48
構築物等	3,873	10,845	4,985	3,150	6,724	9,454	3,984	859	1,149	1,003	458	622	303
建設仮勘定	250	13	1,038	16	160	22	88	44	0	75	481	18,350	22
無形固定資産	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0
負債	232	268	206	274	181	222	823	80	74	101	95	141	93
借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	220	254	195	260	170	211	786	77	71	74	90	62	89
その他負債	12	13	11	15	11	11	37	4	3	28	5	79	4
資産負債差額	24,405	85,378	19,633	6,068	19,692	17,312	13,845	6,159	3,010	1,692	2,611	27,236	1,092

金額単位: 百万円、四捨五入

一般会計からの受入や本省・地方航空局の人件費等、空港全体に係るものは除いている。

【その他の空港】

イ 長崎空港、宮崎空港、鹿児島空港等、一定の空港使用料収入があり、当該年度に大規模空港整備事業を行っていない空港については、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入と歳出が、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益と費用の規模が、それぞれ大きく変わらない試算結果となっている。

ロ 稚内空港、釧路空港、高知空港等、空港使用料収入が少ない空港については、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ下回る試算結果となっている。

【共用空港】

イ 滑走路等が空港整備勘定の資産となっていないため、資産額や減価償却費が比較的少額となっている。

ロ しかし、空港使用料収入が少ないことや大規模空港整備事業を行っていることにより、全ての共用空港のキャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を下回っており、ほとんどの共用空港において、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を下回る試算結果となっている。

【留意点】

- () 歳入や収益に一般会計受入を計上しない一方で、空港整備事業に関連する歳出や費用である空港整備事業費、空港整備費、減価償却費、環境対策費を計上しているため、収入と支出とのアンバランスが生じ、各空港の収入と支出を合算した空港全体の収支は、歳入が歳出を、収益が費用を下回る結果となる。
- () 国管理空港においては、一般会計からの受入を主な財源として大規模更新を含む空港整備事業を行っているにも拘わらず、当該受入を各空港の歳入や収益に加えないのは、バランスに欠けるとの指摘があり得る。

【キャッシュフローベースの空港別収支】

科目	国管理空港 共用空港 合計	空港別												
		東京国際	大阪国際	新千歳	福岡	那覇	稚内	釧路	函館	仙台	新潟	広島	高松	松山
歳入項目														
着陸料等収入	89,230	38,275	13,820	8,813	8,505	2,283	100	359	816	1,594	571	1,692	695	1,139
土地建物等貸付料収入	20,098	12,674	1,623	701	2,224	1,103	0	19	80	215	137	60	57	142
受託工事納付金収入	1,401	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,401	0	0	0
歳出項目														
受託工事費	770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	770	0	0	0
空港等維持運営費等	31,149	7,053	2,922	3,349	2,672	1,976	709	750	763	1,006	826	730	523	654
土地建物借料	12,444	16	4	1	8,381	3,942	3	11	17	14	8	7	1	0
国有資産所在市町村交付金	8,098	4,298	703	250	602	296	15	81	114	124	228	94	98	144
歳入項目の合計	110,729	50,948	15,443	9,514	10,729	3,386	100	379	896	1,809	2,110	1,751	752	1,281
歳出項目の合計	52,461	11,368	3,629	3,600	11,654	6,213	728	841	893	1,144	1,833	831	623	798
歳入・歳出差額	58,268	39,580	11,814	5,914	-925	-2,827	-628	-463	3	666	277	920	130	483

【企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)】

科目	国管理空港 共用空港 合計	空港別												
		東京国際	大阪国際	新千歳	福岡	那覇	稚内	釧路	函館	仙台	新潟	広島	高松	松山
【損益計算書】														
営業収益	109,327	50,948	15,443	9,514	10,729	3,386	100	379	896	1,809	709	1,751	752	1,281
着陸料等収入	89,230	38,275	13,820	8,813	8,505	2,283	100	359	816	1,594	571	1,692	695	1,139
貸付料収入等	20,098	12,674	1,623	701	2,224	1,103	0	19	80	215	137	60	57	142
営業費用	49,603	11,212	3,426	3,234	11,469	6,169	515	816	828	1,129	948	825	611	743
人件費	7,031	1,615	693	700	722	598	100	177	139	319	135	161	86	120
庁費等	18,436	4,115	1,758	1,958	1,507	1,177	354	462	475	579	484	469	319	411
土地建物借料	12,444	16	4	1	8,381	3,942	3	11	17	14	8	7	1	0
滑走路等修繕費等	3,202	1,060	238	287	225	118	37	80	74	76	84	86	102	61
国有資産所在市町村交付金	8,097	4,298	703	250	602	296	15	81	114	124	228	94	98	144
その他経費	394	107	31	38	32	39	6	6	9	17	9	8	5	6
営業損益	59,724	39,736	12,017	6,281	-740	-2,783	-415	-438	68	681	-239	926	141	538
営業外収益	858	0	0	0	0	0	0	0	0	0	858	0	0	0
受託工事納付金収入	858	0	0	0	0	0	0	0	0	0	858	0	0	0
経常損益	60,583	39,736	12,017	6,281	-740	-2,783	-415	-438	68	681	619	926	141	538

【貸借対照表】

資産	1,322,931	560,551	138,095	30,177	165,486	39,782	2,999	14,283	17,192	17,152	21,861	42,039	20,782	21,610
有形固定資産	1,322,792	560,442	138,092	30,173	165,482	39,779	2,998	14,282	17,191	17,150	21,860	42,039	20,781	21,609
土地	788,212	240,370	120,152	6,970	147,860	19,176	360	7,657	9,550	7,322	9,021	29,384	16,760	16,169
建物	46,089	26,759	2,949	1,437	855	4,217	458	532	654	988	766	390	326	273
構築物等	404,992	237,051	12,159	21,707	15,667	15,023	2,100	6,004	6,850	8,763	12,073	11,606	3,429	5,152
建設仮勘定	83,498	56,262	2,831	59	1,100	1,363	80	89	137	78	0	658	267	15
無形固定資産	137	109	3	3	3	3	0	1	1	2	1	1	1	1
負債	908,284	897,823	1,114	1,292	1,300	1,236	157	256	264	626	767	277	174	207
借入金	891,938	891,938	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	11,408	2,138	1,057	1,220	1,224	1,187	149	240	231	592	211	242	164	196
その他負債	4,938	3,747	57	73	76	50	8	16	33	33	556	35	9	11
資産負債差額	414,647	-337,272	136,981	28,885	164,186	38,546	2,842	14,027	16,928	16,526	21,094	41,763	20,608	21,402

金額単位: 百万円、四捨五入

本省・地方航空局の人員費等、空港全体に係るものは除いている。

(東京国際空港)

イ (パターン の イ に同じ。)

ロ 空港整備に係る歳出や費用等を除外する結果、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては、借入金を歳入から除外する一方、空港整備事業費及び借入金返済を歳出から除外するため、歳入は歳出を上回り、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては、空港整備費、減価償却費及び支払利息等を費用から除外するため、収益が費用を上回る試算結果となる。

(大阪国際空港、新千歳空港)

イ 空港整備に係る歳出や費用、すなわち空港整備費、減価償却費、環境対策費等を除外する結果、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ上回る試算結果となる。

(福岡空港、那覇空港)

イ 両空港とも民有地を借り上げていることに伴う土地建物借料の負担が重いこと等から、空港整備に係る歳出や費用等を除外した場合にあっては、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ下回る試算結果となっている。

【キャッシュフローベースの空港別収支】

科目	高知 北九州 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 八尾 丘珠 小松 美保 徳島 三沢												
	高知	北九州	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	八尾	丘珠	小松	美保	徳島	三沢
歳入項目													
着陸料等収入	534	663	1,246	1,498	923	1,306	2,284	21	39	1,311	204	397	141
土地建物等貸付料収入	100	88	96	92	41	166	123	84	21	115	27	94	14
受託工事納付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出項目													
受託工事費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空港等維持運営費等	641	911	693	713	574	828	1,319	233	270	324	235	205	270
土地建物借料	0	1	21	0	0	0	6	5	0	0	6	0	0
国有資産所在市町村交付金	144	12	156	57	172	138	138	118	16	26	21	46	8
主な歳入項目の合計	634	751	1,342	1,590	964	1,472	2,407	105	61	1,427	231	491	155
主な歳出項目の合計	785	924	869	770	746	966	1,464	356	285	350	262	251	278
歳入・歳出差額	-151	-173	472	820	218	506	943	-250	-225	1,077	-31	240	-124

【企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)】

科目	高知 北九州 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 八尾 丘珠 小松 美保 徳島 三沢												
	高知	北九州	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	八尾	丘珠	小松	美保	徳島	三沢
〔損益計算書〕													
営業収益	634	751	1,342	1,590	964	1,472	2,407	105	61	1,427	231	491	155
着陸料等収入	534	663	1,246	1,498	923	1,306	2,284	21	39	1,311	204	397	141
貸付料収入等	100	88	96	92	41	166	123	84	21	115	27	94	14
営業費用	731	733	857	705	685	878	1,332	349	284	344	257	250	273
人件費	139	162	119	140	102	127	399	49	52	39	48	32	55
庁費等	381	496	486	417	351	526	660	114	198	225	160	155	199
土地建物借料	0	1	21	0	0	0	6	5	0	0	6	0	0
滑走路等修繕費等	65	53	66	82	46	83	112	63	18	46	17	16	7
国有資産所在市町村交付金	144	12	156	57	172	138	138	118	16	26	21	46	8
その他経費	2	9	8	9	15	5	16	0	1	7	5	1	5
営業損益	-97	18	485	885	279	594	1,075	-243	-224	1,083	-25	241	-119
営業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託工事納付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常損益	-97	18	485	885	279	594	1,075	-243	-224	1,083	-25	241	-119

〔貸借対照表〕													
資産	24,637	85,646	19,839	6,342	19,874	17,534	14,668	6,239	3,083	1,793	2,706	27,376	1,185
有形固定資産	24,636	85,645	19,839	6,341	19,873	17,533	14,665	6,239	3,083	1,793	2,706	27,376	1,183
土地	20,202	73,770	13,070	2,216	12,464	7,657	9,715	5,246	1,759	555	1,676	8,321	810
建物	310	1,017	746	959	526	401	879	89	176	160	91	84	48
構築物等	3,873	10,845	4,985	3,150	6,724	9,454	3,984	859	1,149	1,003	458	622	303
建設仮勘定	250	13	1,038	16	160	22	88	44	0	75	481	18,350	22
無形固定資産	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0
負債	232	268	206	274	181	222	823	80	74	101	95	141	93
借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	220	254	195	260	170	211	786	77	71	74	90	62	89
その他負債	12	13	11	15	11	11	37	4	3	28	5	79	4
資産負債差額	24,405	85,378	19,633	6,068	19,692	17,312	13,845	6,159	3,010	1,692	2,611	27,236	1,092

金額単位: 百万円、四捨五入

本省・地方航空局の件費等、空港全体に係るものは除いている。

【その他の空港】

イ 空港整備に係る歳出や費用を除外する結果、多くの空港が、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ上回る試算結果となるが、稚内空港、釧路空港等、空港使用料収入が少ない空港については、その場合にあっては、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ下回る試算結果となっている。

【共用空港】

イ 丘珠空港や美保空港等については、空港整備に係る歳出や費用を除外する結果、キャッシュフローベースの空港別収支にあっては歳入が歳出を、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)における経常損益にあっては収益が費用を、それぞれ下回る試算結果となっている。

【留意点】

- () 空港整備に係る歳入や歳出、収益や費用をすべて除外するため、各空港の収支の一部分のみを示す試算となってしまう、空港運営の実態を十分に示し得ていない。
- () 空港整備に係る歳入や歳出、収益や費用を除外することとした結果、施設運用によるサービスの提供が主な業務である空港において、施設整備に伴い当然発生する費用である減価償却費等が含まれていない収支や損益を示したこととなり、空港の実際の収支・損益状況を反映していないとの指摘があり得る。
- () 除外することとする空港整備に係る歳出や費用の財源は一般会計受入だけではないため、空港整備に係る歳出や費用をすべて除外するのは、歳入や収益とのバランス上、除外しすぎであるとの指摘があり得る。